

施策事例 ① 住民参画・NPO・ボランティア関連施策

くるめクリーンパートナー

自治体情報 福岡県久留米市

人口 / 302,333人 標準財政規模 / 66,916百万円

- 担当課** 環境部環境政策推進課
- 電話番号** 直通 0942-30-9146
- 実施主体** 久留米市
- 関連ホームページ** <http://www.city.kurume.fukuoka.jp/1050kurashi/2100kankyougomi/3110kankyoubika/cleanpartner.html>
- 事業期間** 平成14年度から
- 関係施策分類** ⑤

予算関連データ

総事業費：1,782千円 (H24)

名称	所管	金額(千円)
一般財源	-	1,782

施策のポイント

市民・事業者・行政が協働して市域の公共施設の清掃活動に取り組む事業。平成24年3月末現在、約16,000名が登録しており、平成14年の事業開始時と比べて、路上等に落ちているごみは格段に少なくなった。なお、登録者数は九州地域では第1位となっている。

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

平成13年度における市民意識調査の結果で、約1/2の方が何らかの形で美化活動を実践しており、また、行政に対する美化活動への支援要望が多かった。そこで、新たな環境美化施策については、久留米市新総合計画の基本的視点の一つである「行政主導から市民と行政の協働によるまちづくり」を施策展開の柱とし、市民・事業者・行政が一体となって、環境美化の促進を総合的、効果的に展開することが必要と考え、さらに、全国的に急速に普及している「アダプトプログラム」に着目し、事業着手に至った。

2. 取組の具体的内容

アダプトプログラムとは、アメリカで導入された環境美化ボランティア制度で、「公共施設の里親制度」のことである。参加者が任意に選んだ活動区域において、散乱ごみの収集を基本とした美化ボランティア活動を実施していただき、市は、用具の貸し出しや保険の加入、ごみの処理のほか、参加団体等の名称入りの標示板を設置し活動を支援します。

- (1) 事業名称
「くるめクリーンパートナー」
- (2) 対象地域
市内全域の道路、公園、河川等の公共施設
- (3) 参加対象
市民団体、学校、事業者等の団体及び個人
- (4) 実施内容
参加者は、市と合意書を交わし、年間6回以上の清掃等の環境美化活動を実施と年に一度活動報告書を提出
 - <市民の役割>
 - 紙くずや空き缶、空き瓶などの散乱ごみの回収
 - 回収が困難なごみを発見した場合や不法投棄等に関する市への情報提供
 - <市の支援>
 - 清掃道具（ほうき、ちりとり、トンガ、草刈り鎌）の貸与
 - 軍手、帽子、専用ゴミ袋の支給
 - 活動する団体等の名称を表示した標示板の設置（希望者のみ）
 - ごみの収集運搬、処理
 - ボランティア保険の加入

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

これまで把握が難しかった、地域での美化ボランティア活動の実態をつかめるようになると想定していた。また、美化ボランティア活動者とのコミュニケーションがとれるようになって考えていた。

4. 現在までの実績・成果

<登録件数の推移>

	団体数	個人数	登録人数
平成14年度末	106	23	4,295
平成15年度末	124	24	4,724
平成16年度末	139	28	5,331
平成17年度末	179	35	8,159
平成18年度末	217	37	9,658
平成19年度末	245	47	11,607
平成20年度末	273	47	13,005
平成21年度末	283	59	15,128
平成22年度末	302	59	15,620
平成23年度末	319	66	16,064

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

当事業導入にあたり、まち美化のためアダプト・プログラム事業を行っている食品容器環境美化協会から情報を収集し、市民に分かりやすい簡易な制度を構築し、活動者の負担を出来るだけ低減するよう心掛けた。

6. 今後の課題と展開

登録者数の拡大に向けての広報・周知活動を更に推進していく。